

バルーンアートをつくってみよう！

～バルーンアートがコミュニケーションツールになる!?～

デザイナー
バルーンアートボランティア
虹色バルーン・チーム那須塩原 代表

安藤 義孝氏

民生委員として活動するかたわら
バルーンアートボランティアとして
学童保育での親子バルーンアート作
り体験や、地域のイベントに参加し
て子どもたちにバルーンアートをプ
レゼントしています。



まずは安藤さんから「割れないようにやわ
らかくするためにもんでおくところ」「一
方向にねじること」など風船の扱い方のコツ
を教えてくださいました。

虹色バルーン・チーム那須塩原の 皆さん



お仕事の関係で海外出張が多かった安藤さん。あまり英語が得意ではなくホームパーティーでなかなか輪に入れなかったそうです。

そんな時に活躍したのが「折り紙」と「バルーンアート」。言葉は通じなくてもあつという間に子どもたちもおじいちゃん、おばあちゃんとも仲良しになりました！

もみもみして
ねじねじして
基本の「犬」と「剣」
を作りました！

作って楽しい
もらって嬉しい
大人も子どもも笑顔になる
バルーンアートです。



基本ができれば、次は好きな
色の風船を選んで好きな
バルーンアートを作ります！
大だこ、リース、サクラン
ボなどに挑戦しました！



今回のうえるるトークに参加された皆さんは、自治会の夏祭りで使いたいという自治会長さん、公民館の事業で活用したい、保育園で披露したい、オレンジカフェ（認知症カフェ）で皆さんと作りたい、などとそれぞれに目的を持って来てくださいました。会場の飾りつけや、ワークショップでの作成、もちろんイベントでプレゼントなど使い方は幅広く活躍の場が多いバルーンアート。これからたくさんの場所で大活躍してくれることと思います。